

関西広域産業共創プラットフォーム News Letter

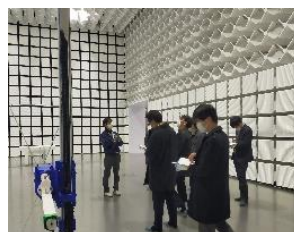
2025（令和7）年
4月末発行

● 関西広域産業共創プラットフォーム 4年目へ！

関西広域産業共創プラットフォームは今年度で4年目を迎えました。今月号では、これまでの活動の「あれこれ」を振り返りました。

【R4年度】

- 11月 関西広域産業共創プラットフォーム始動！
- 1月 公設試見学・交流会@大阪産業技術研究所



公設試見学・交流会

2025

【R5年度】

- 6月 アドバイザー制度を新設
- 6月 公設試見学・交流会
@京都市産業技術研究所
- 9月 かんさいラボサーチに「ショーケース」
ページを新設
- 2月 公設試見学・交流会
@兵庫県立工業技術センター

今まで5公設試を訪問し、
累計200名以上の方に
参加いただき、連携・交流を
深めました。

初めての試みとして、
現地とオンラインのハイ
ブリットで開催。会議
後にはCDも参加して
交流会を行い、盛会
のうちに終了しました。



PF連携会議
@産総研・関経連・うめきたサイト

2024

2023

2022



ラボサーチ「ショーケース」

公設試の支援成果をよりわかり
やすく伝えるため、公設試が
地元企業と連携して製品化し
た事例を写真・動画とともに紹
介するページを新設しました。

【R6年度】

- 4月 日本総研レポートで本PFの紹介
- 6月 公設試見学・交流会
@和歌山県工業技術センター
- 9月・12月 関経連「経済人」連載
- 12月 PF連携会議 初の現地開催
@産総研・関経連うめきたサイト
- 1月 公設試見学・交流会
@徳島県立工業技術センター

～事務局便り～

満開の桜と共に新年度を迎えました。13日に開幕した大阪・関西万博も日々のニュースで取り上げられ、盛り上がってきていることを実感します。一度ならず何度も会場に行き楽しんでいらっしゃる方々も多いようです。ネット情報で満足しがちな昨今ですが、やはり「体験する」という満足感は格別なようです。

事務局メンバーが一部交代しました。関西広域連合広域産業振興局では中西課長補佐と小林総括主査、鮎子田さんが変わられ、新たに須田課長補佐と東田さんが着任しました。さて、当PF事業は、令和7年度から本格実施のステージに移行し、予算的にも強化されました。当紙面にてご報告させていただきますとともに、皆様のご支援、ご協力に心から感謝申し上げます。

PF開始当初から、「小さな相談、大きなチャンス」を理念として、「開発現場力」と「集団脳」の二つの強みを両輪にユニークで高度な顧客支援事業を展開する、という運営方針で活動をしてまいりました。この初心を堅持しつつ、さらに活動の質と実効性の向上を目指して事務局一同、頑張っております。

公設試発！News

Sler's Day in 近畿（和歌山） 開催のご案内 和歌山県工業技術センター

2025年6月6日 **金** 13：30～

- 会場** 和歌山県民文化会館
(和歌山市小松原通1丁目1番地)
- 主催** 一般社団法人
日本ロボットシステムインテグレート協会
- 後援** 和歌山県（申請中）
公益財団法人 わかやま産業振興財団
- 参加費** 無料 ※交流会は会費5,000円/人

Sler（エスアイヤー）とは、システムインテグレーター（System Integrator）の略で、顧客のシステム開発や運用を請け負う企業を指します。
本イベントは、Sler 企業間やロボット導入を検討している企業との交流を図るために、各地で開催されているものです。
今回のイベントには、和歌山県も参加しています。また県内の大学・高校、県内企業が登壇し、ロボット導入の事例や取組が紹介されます。

※詳しくは以下をご覧ください。
<https://www.wakayama-kg.jp/news/2025/04/-siers-day-in.html>

「全自動無縫製横編試作支援システム」を導入しました

兵庫県立工業技術センター
繊維工業技術支援センター

全自動無縫製横編試作支援システムは、糸から繊維製品まで縫製工程を経ることなく、まるで3Dプリンタのように、一着まるごとを立体的に編み上げることができる装置です。

デザインシステム上で編物設計データを作成し、無縫製横編機で編み立てを行うことで、綿糸をはじめとする各種の糸を用いた子供服、手袋、靴下、小物などの最終製品の試作が可能です。自社の新製品開発時の試作・試験など、さまざまな用途にぜひご活用ください。



※ 令和6年度 JKA機械設備拡充事業で導入
※ 詳しくは以下をご覧ください。
<https://www.hyogo-kg.jp/kiki/item3046>

新規古道酵母KODO.ec162株、 初めてのワインが販売されることになりました!! 和歌山県工業技術センター

和歌山県工業技術センターでは、熊野古道・中辺路地域にて採集した古道酵母を改良し、「カブロン酸エチル」を高生産する新規古道酵母「KODO.ec162株」を開発しました。
本酵母は、既に複数の企業で利用いただいており、主に清酒の発酵に活用されています。
今回、本酵母を株式会社TOA 和歌山湯浅ワイナリー（湯浅町）に譲渡し、新規古道酵母KODO.ec162株を用いたワイン「古道 - KODO - 2024」が販売されることになりました。

新規古道酵母「KODO.ec162株」は、フルーティなリンゴの様な吟醸香と、熊野古道由来という和歌山らしさを併せ持っています。今回初めて、ワインへ活用されることで、和歌山オリジナル酵母の新展開となっています。

本成果は、和歌山県工業技術センターで実施している和歌山県コア技術確立事業「微生物の育種技術の高度化」で得られたものであり、今後も県内産業の発展に寄与する技術の開発を進めてまいります。

※詳しくは以下をご覧ください。
<https://www.wakayama-kg.jp/news/2025/04/kodoec162.html>



新規古道酵母を用いて醸造したワイン
古道 - KODO - 2024
((株) TOA 和歌山湯浅ワイナリー提供)

当センター職員が表彰されました (鳥取県産業技術センター)

令和6年11月26日に開催された「2024年度 中国地域公設試験研究機関 功績者表彰式（主催：公益財団法人中国地域創造研究センター）」において当センター職員が表彰されました。

○地域技術貢献賞 (中国経済産業局長賞)

有福 一郎（食品開発研究所 所長）
「地域資源の有効活用・アップサイクルによる
食品関連産業の技術支援」



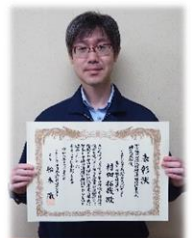
○試験研究功労賞 (公財)中国地域創造研究センター会長賞)

加藤 明（機械素材研究所 副所長）
「産学官連携による共同研究を通じた機械
加工技術分野の地域貢献」



○研究奨励賞 (公財)中国地域創造研究センター会長賞)

村田 拓哉
(電子・有機素材研究所 主任研究員)
「プラスチック等の有機系材料の機能拡充に
係る技術支援及び試験研究」



(上段・中段の写真：公益財団法人中国地域創造研究センターHPより)